

**Le développement régional dans le cadre de la stratégie
de développement de la Tunisie pour la période 2012-2016
2012 年-2016 年期のチュニジア発展戦略における地域開発**

2012 年-2016 年期のチュニジアの発展戦略は地域開発に特別な注意が注がれている。当戦略への重要な目的は、とりわけ失業問題にみられるような構造的・経済的・社会的地域格差が生じるのを阻止し、国民の暮らしを充実させ、チュニジアの若者に希望と自信を取り戻させるために公正な地方都市の発展、社会階層間の公正なバランスを保障することにある。

地域開発における今後の優先項目は、国内の内陸部を僻地から競争力と魅力のある地域に開発しその地域の潜在力評価を得られるか、また各地域の知られざる特性が地元企業や外国企業にとって投資の新しいチャンスとなり得るかによる。

このように当戦略の展開は、とりわけ不利な状況下にある内陸部に向けられている。戦略展開は下記の様々なセクター（分野）にかかわっている。

1 雇用分野：

- ✓ 内陸部地域における雇用創出の仕組みを強化し、仕事のある生活像を将来の展望に組み込んでいくことによって雇用の可能性を改善する。

2 人間開発および社会発展分野：

- ✓ 最も過酷な状況下の地域における福祉厚生関連全体をカバーしながら支援プログラムを実施していく。中でも主として母体治療、出産前治療、出産後治療、小児治療、定期的な訪問治療と社会生活のフォローを貧困家庭を対象に行っていく。
- ✓ とりわけ恵まれない社会階層、農村地域の人々に対し、貧困を削減し、内陸部地域の生活環境を改善する。
- ✓ 公共サービスを受けることができない僻地の地理的障害を減らすために定期的な評価システムを設置し、とりわけ健康、教育、社会保障、行政機関が行う生活手当など、公共サービスの実績をフォローし評価する仕組みを構築する。

- ✓ 新たに3つの大学病院を開設することで医学専門分野および専門医などの医療サービスがとりわけ内陸部にも届くことを確約する。
- ✓ 最良の就職環境・社会環境を提供し、若者に革新的なプロジェクトを創設・発展させ、取り残された地域の発展を促進させることによって若者たちが生活の拠点を内陸部にも選択できるように奨励する。
- ✓ 新設大学を内陸部に配置する。中央当局による国内教育指導要綱に沿った資格レベルおよび大学としての適切な存在を保障することが目的である。

3 投資・社会基盤分野：

- ✓ とりわけ内陸部に銀行同等機能を持たせ改善を図る、操作技術者のために共同プラットフォームを構築する、新テクノロジーを導入し最良の操作設備によって公共銀行の機能がより高性能となるよう強化する、これらを通して銀行部門の近代化を図る。
- ✓ 集中開発プログラムおよび地方開発の大きな原動力を創出することを狙いとした農村開発を実現する。この一環として、各地域に独自の経済的・文化的豊かさ、その土地本来の豊かさがもたらされるべく特化されたプログラムが識別され採用される。
- ✓ 2012年～2016年期に見込まれている総投資額の40%、すなわち500億ディナールを内陸部に割り当てる。この予算枠は300億ディナールを公共投資、200億ディナールを民間投資に配分される見込みである。このように内陸部に特化配分される内陸部に割り当てられる公共投資は2012年～2016年期に予定されている総公共投資額の60%を占めることになる。この予算枠は部分的に地方のインフラ整備を強化して行うため2012年～2016年期の投資プログラムに充てられる。また複数の分野に関係するいくつかのプロジェクトも含んでいる。

道路のインフラ整備分野：

経済の活性化がかかっている重要項目で、とりわけ内陸部に向け、2012年～2016年期の投資プログラムとして2011年の360 kmから2016年末には約1200 kmに拡大する下記的高速道路網の建設プロジェクトが含まれる。

- 北南幹線道路 (M'saken-Sfax-Gabès-リビア国境)
Sfax- Gabès-Méderine-Ras Jadir 区間の 185km に渡る建設も含む。
- 東西幹線道路 (Oued Zarga-Bé a- Jendouba 間) 74km
さらに Oued Zarga-Kef 間の高速道路建設のための設計図の検討
- 横断幹線道路 (Kairouan – Sidi Bouzid-Kasserine-Gafsa) 350km

鉄道輸送分野：

投資プログラムには下記のプロジェクトも含まれる。

- Le Grand Tunis(首都圏)に 85km に渡る高速鉄道網を開通させなければならない。
主に 29km に広がる第一区を含む人口集中がみられる地域
- Gabès-Méderine-Enfidha-Kairouan と Tunis-Kasserine を結ぶ新しい鉄道網

情報技術分野：

下記の目的のため、様々な地域にて必要なインフラを構築するための努力が向けられるだろう。

- サイバーパークの受容量の補強を通じてテナント収容区画の情報通信技術(ICT用)のインフラ整備を強化する。
高容量ネットワーク回線を提供し、<クラウド・コンピューター>をベースとするインフラを強化することによって近代的情報網の設置を迅速に行う。
- 外国企業を安心して誘致できる近代的ハイテク空間の整備。 高付加価値を有する分野、とりわけオフショア分野のためのハイテク空間をカバーできる 100 万m²の設備を稼働させる。これには国際規格に沿う国内全域をカバーする国内網が整備される。まずは 300 ヘクタールの敷地に建設が予定されているチュニス・テクノロジー・シティを始めとする特別管轄地の整備に力を注ぐ。
- 高容量の情報網によるサービスおよび工業地区、大学複合地区、医療センター地区の施設整備の続行。
- スマートシティ、スマートグリッド(次世代送電網)、イーヘルス(インターネットなどの IT 技術を活用して健康づくりに役立つ情報・サービスを提供すること)、高度交通システムなど、R D I 国家プロジェクト事業を開始。

工業インフラ分野：

総面積 2820 ヘクタールの敷地に 85 の工業地区を建設する計画から成る新しいプログラムが実施される。内 50 地区は内陸部に位置する。より魅力的な土地柄に改善し事業を展開する企業にとっても競争力を強化できる環境を整えるため、既存の内陸部地区にも新たに同レベルの基礎設備を適合させる努力を継続することも追加される。当戦略は同様に各県に少なくともひとつの複合施設または工業・技術拠点を開設することも検討している。それらは技術を内陸地域に確実に移転させ、国内の別の地域や国際レベルに統合させることも可能になる。

同時に投資プログラムは育成基盤、高等教育基盤、健康・文化・スポーツ分野に関する社会基盤の補強・強化にも充てられる。とりわけ地方レベルへの職業訓練の地方分散、各県にひとつの大学拠点を新設する。各広域地域のひとつの拠点と 3 つの新しい大学病院の割合で分類される高等教育優良拠点 6 か所が新設される予定である。

4. 地方行政分野：

- ✓ 地方分権をより確実にするため選出された地方議会に働きかけて市町村法規を見直し地方の経済・社会議会を新設する。この改革は国家・地方間の協力体制の一環をなし、地方協定を結ぶことによって財源と適正人材によって地方の自治制が強化される。 次の（戦略）期間には行政と領土の地方分権の導入が特徴的となり、国民の需要に適切に応えられる結果を生むであろう。